

「学士課程における助産選択学生の自己評価に関する研究」

京都府立医科大学医学部看護学科母性看護学・助産学領域では、2018年度(看護学科第14期生)から2024年度(看護学科第20期生)に助産師コースに在籍された卒業生の皆さんを対象に助産学実習Ⅱの技術項目の卒業時の到達度(自己評価)に関するCOVID-19感染症流行前(2019年、2020年)・中(2021年、2022年、2023年)・後(2024年、2025年)の変化とその関連要因の検討を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

・ 研究の目的

本研究の目的は、COVID-19感染症流行前(2019年、2020年)・中(2021年、2022年、2023年)・後(2024年、2025年)の本学助産選択学生の自己評価による「助産師教育の技術項目の卒業時の到達度」の変化と到達度に関連する要因を明らかにすることです。

COVID-19感染症拡大により、助産学実習の方法や内容は大きな変容を求められ、多くの助産師養成機関において、臨地実習とシミュレーション実習の併用教育がなされました。それは本学も例外ではありませんでした。次に、COVID-19感染症拡大後、わが国の少子化は想定外の早さで進展しているだけでなく、妊産褥婦のハイリスク化によって、養成所指定規則(厚生労働省、2021)で規定されている「10回程度」の分娩介助を取り扱うことが困難な状況が続いています。さらには、全国的に助産学履修の前に看護学の必須科目である母性看護学実習において、分娩見学や産婦と関わる機会が得られないまま、助産師養成コースに進学する学生も増加しており、助産師学生が臨地実習で経験できる内容にばらつきが生じていることが問題になっています。したがって、本研究では、助産学実習をとりまく社会状況の変化を踏まえた皆さんの実習終了時の到達度の変化を検討し、今後の実習指導内容を検討する資料としたいと思います。

・ 対象となる方について

京都府立医科大学医学部看護学科母性看護学・助産学領域では、2018年度(看護学科第14期生)から2025年度(看護学科第21期生)に助産師コースに在籍された卒業生の皆さん

・ **研究期間**：医学倫理審査委員会承認後から2027年3月31日

・ **試料・情報の利用及び提供を開始する予定日**

利用開始予定日：医学倫理審査委員会承認日

・ 方法

京都府立医科大学医学部看護学科母性看護学・助産学領域 2018 年度(看護学科第 14 期生)から 2024 年度(看護学科第 20 期生)に助産師コースに在籍された卒業生の皆さんを対象に助産学実習 II の技術項目の卒業時の到達度(自己評価)を取得します。実習状況との関連性を分析し、実習到達度の経年変化および関連要因について調べます。

・ 研究に用いる試料・情報について

助産師教育の技術項目の卒業時の到達度自己評価・助産師教育の技術項目の卒業時の到達度指導者評価・分娩介助実習時間・経験数、実習対象者背景(年齢、分娩経験(初産/経産)、分娩時週数(早産/正期産)、分娩所要時間、分娩様式、分娩時出血量、出生時体重)

・ 個人情報の取り扱いについて

皆さんの自己評価および実習状況に関する情報をこの研究に使用する際は、皆さんの氏名を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。しかしながら、経年変化の比較には、皆さんの卒業年度が必要となります。皆さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、皆さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究代表者(京都府立医科大学医学部看護学科母性看護学・助産学領域 高橋由紀)の責任の下、厳重な管理を行い、皆さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 研究資金及び利益相反について

本研究は大学運営交付金(教室費)により実施します。本研究の実施にあたり、開示すべき利益相反はありません。

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等にしたがって管理されています。

・ 研究組織

- ・ 研究責任者: 医学部看護学科・教授・高橋由紀
- ・ 研究担当者: 同上(統括)
- ・ 個人情報管理者: 助教・水田和

- ・ データ解析:学内講師(助教)・前田圭子
- ・ データ解析:講師・吉岡友香子

お問合せ先

皆さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて皆さんにご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さんに不利益が生じることはありません。ただし、研究進行の都合上、データ集計後の関連学会での発表準備以降(おおよそ6月末日)のお申し出には応じることができません。ご了承ください。

所属名・職名・氏名:京都府立医科大学医学部看護学科・教授・高橋由紀

電話番号:075-212-5445、e-mail:yukitaka@koto.kpu-m.ac.jp

受付時間:11時～14時(年末年始を除く)